

# 東北地方 1か月予報

(2月18日から3月17日までの天候見通し)

平成18年2月17日  
仙台管区気象台発表

## <特に注意を要する事項>

期間の前半を中心に気温がかなり高い見込みです。積雪の多い所では、融雪やなだれなどに注意してください。

## <予想される向こう1か月の天候>

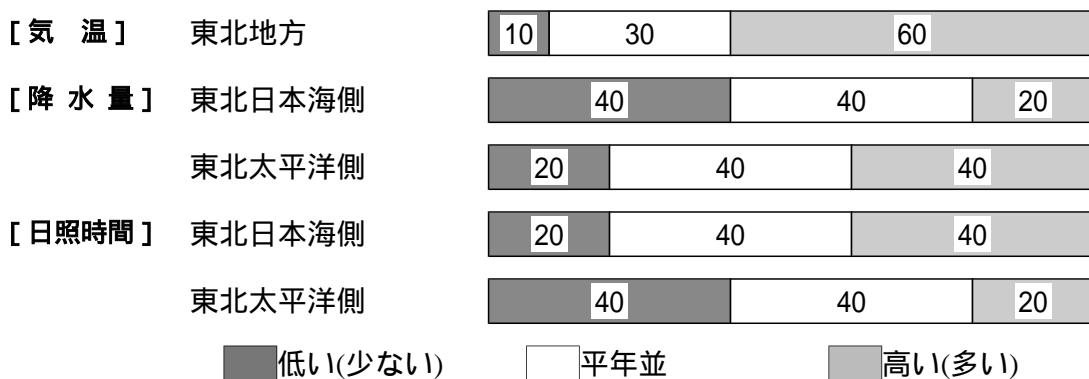
冬型の気圧配置は平年に比べて弱いでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では気圧の谷や寒気の影響で、平年に比べて雨または雪の日が多いでしょう。

平均気温は高いでしょう。

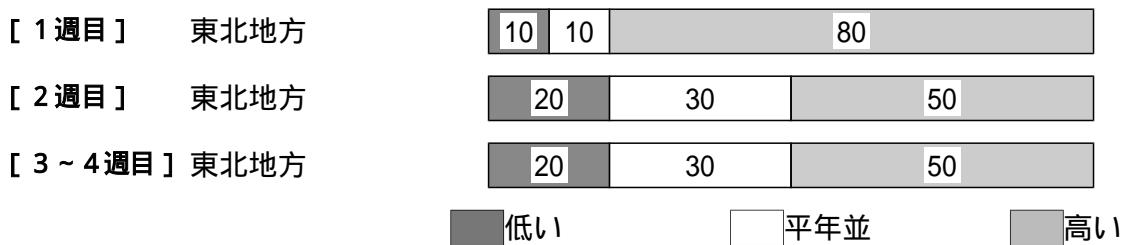
向こう1か月の平均気温は東北地方で高い、降水量は東北日本海側で平年並か少ない、東北太平洋側で平年並が多い、日照時間は東北日本海側で平年並が多い、東北太平洋側で平年並か少ないでしょう。

週別の気温は、1週目、2週目、3～4週目共に高いでしょう。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



## <気温経過の各階級の確率(%)>



## <予報の対象期間>

- 1か月 : 2月18日(土)～3月17日(金)  
1週目 : 2月18日(土)～2月24日(金)  
2週目 : 2月25日(土)～3月3日(金)  
3～4週目 : 3月4日(土)～3月17日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は2月24日

3か月予報：2月23日(木) 14時

暖候期予報：2月23日(木) 14時

## <参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3～4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3～4週目
大船渡	2.1	64.4	147.4	1.3	1.8	2.7
新庄	0.5	113.4	83.8	-0.6	0.1	1.2
若松	1.2	60.4	113.8	0.0	0.7	2.0
深浦	1.1	70.7	78.0	0.1	0.8	1.8
青森	0.4	79.4	103.1	-0.7	0.0	1.1
むつ	-0.1	73.4	118.7	-1.1	-0.4	0.6
八戸	0.6	45.1	145.6	-0.5	0.3	1.4
秋田	1.6	86.7	95.4	0.5	1.3	2.3
盛岡	0.1	61.9	141.8	-1.1	-0.3	0.9
宮古	1.6	73.0	158.4	0.6	1.2	2.2
酒田	2.8	96.2	89.4	1.8	2.4	3.4
山形	1.4	62.4	119.6	0.1	0.9	2.2
仙台	3.1	55.7	158.1	2.1	2.7	3.8
石巻	2.3	51.2	166.2	1.3	1.9	3.0
福島	3.3	58.4	154.5	2.2	2.8	4.0
白河	2.0	51.9	160.3	0.8	1.5	2.8
小名浜	4.9	73.6	170.8	4.0	4.6	5.6

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.7～+0.6	83～110	95～105
東北日本海側	-0.7～+0.6	91～108	92～108
東北太平洋側	-0.6～+0.6	76～116	97～104

(3) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
東北地方	-0.9～+0.9	-0.8～+0.7	-0.5～+0.4
東北日本海側	-0.9～+0.9	-0.7～+0.7	-0.5～+0.5
東北太平洋側	-0.9～+0.9	-0.7～+0.7	-0.5～+0.4

## <参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成18年2月17日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

### 向こう1か月(2月18日~3月17日) :

冬型の気圧配置は平年に比べて弱いでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が少なく、東北太平洋側では気圧の谷や寒気の影響で、平年に比べて雨または雪の日が多いでしょう。

平均気温は高いでしょう。

### 1週目(2月18日~2月24日) :

気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多いですが、期間の前半は高気圧に覆われて晴れの日もあるでしょう。なお、期間の中頃は気温が平年よりかなり高く、積雪の多い所ではなだれや融雪による土砂災害に注意が必要です。

平均気温は高いでしょう。

### 2週目(2月25日~3月3日) :

冬型の気圧配置は平年に比べて弱いでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が少なく、東北太平洋側では気圧の谷や寒気の影響で、平年に比べて雨または雪の日が多いでしょう。

平均気温は高いでしょう。

### 3~4週目(3月4日~3月17日) :

冬型の気圧配置は平年に比べて弱いでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が少なく、東北太平洋側では気圧の谷や寒気の影響で、平年に比べて雨または雪の日が多いでしょう。

平均気温は高いでしょう。

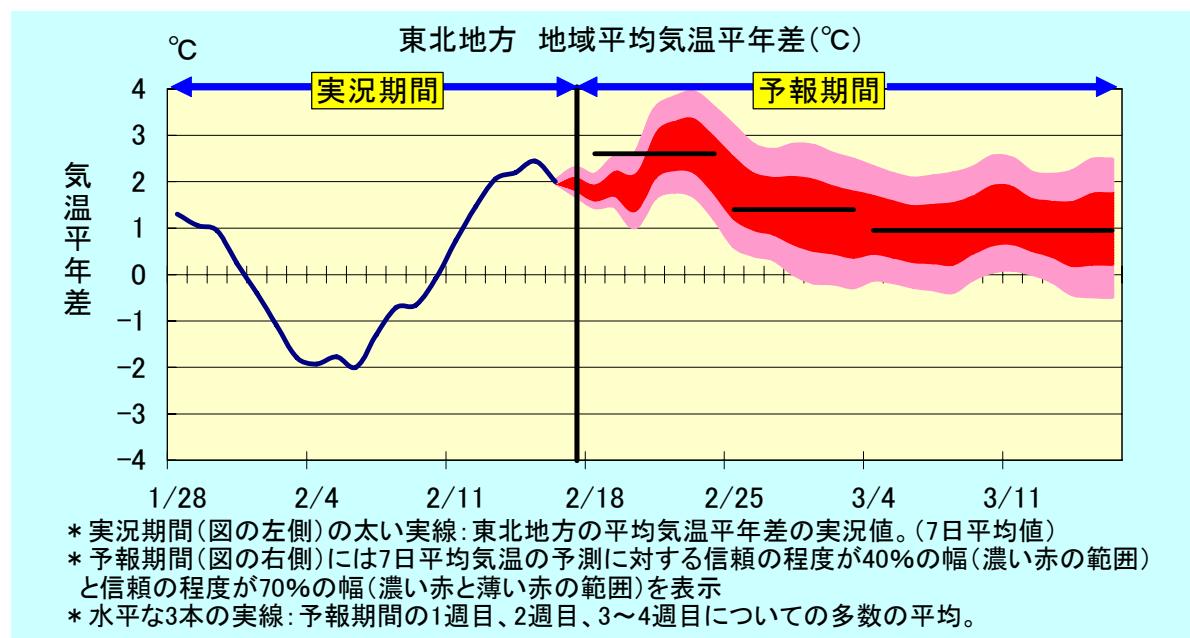
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	9.3日	1.6日	2.2日	5.5日
東北太平洋側	17.7日	4.2日	4.4日	9.1日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共に「高い」と予測している。予報は数値予報どうりとする。

なお、数値予報の信頼度は大きい。

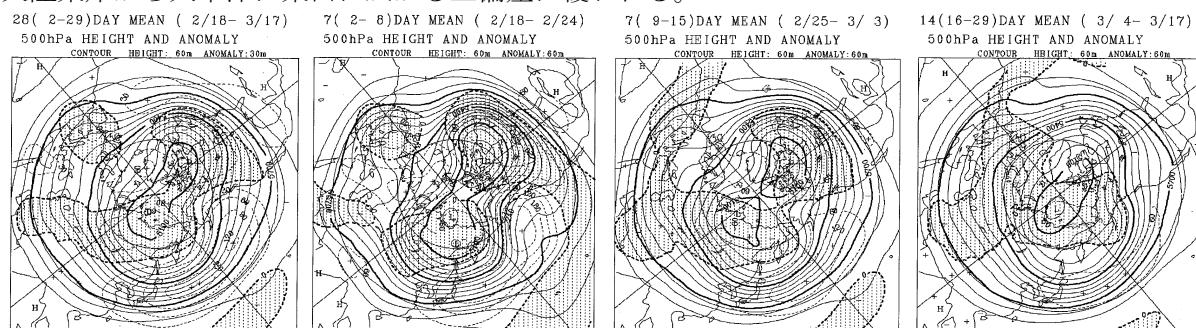


### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

#### 500hPa 高度と偏差：

月平均では、中国大陸から太平洋にかけて東西に広がる正偏差に覆われる。

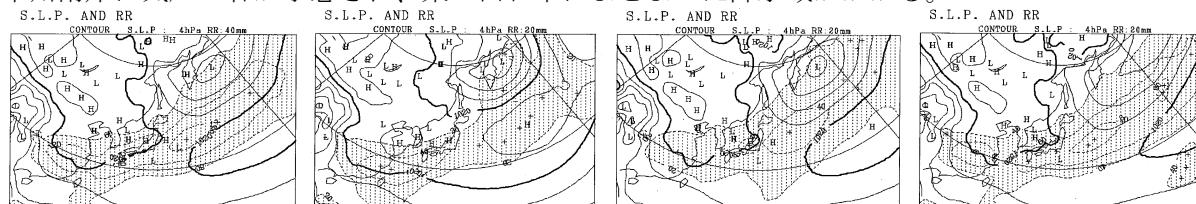
1週目は、日本付近は中国大陸から太平洋にかけて東西に広がる正偏差に覆われる。2週目も月平均とほぼ同様で、日本付近は帶状に東西に広がる正偏差に覆われる。3~4週目は、日本付近は大陸東岸から太平洋に東西に広がる正偏差に覆われる。



#### 地上気圧と降水量：

月平均では、大陸からの高気圧の張り出しが平年より弱く、カムチャツカ半島付近の低圧部も弱いため、冬型の気圧配置は弱い。東・西日本を中心に降水域がかかる。

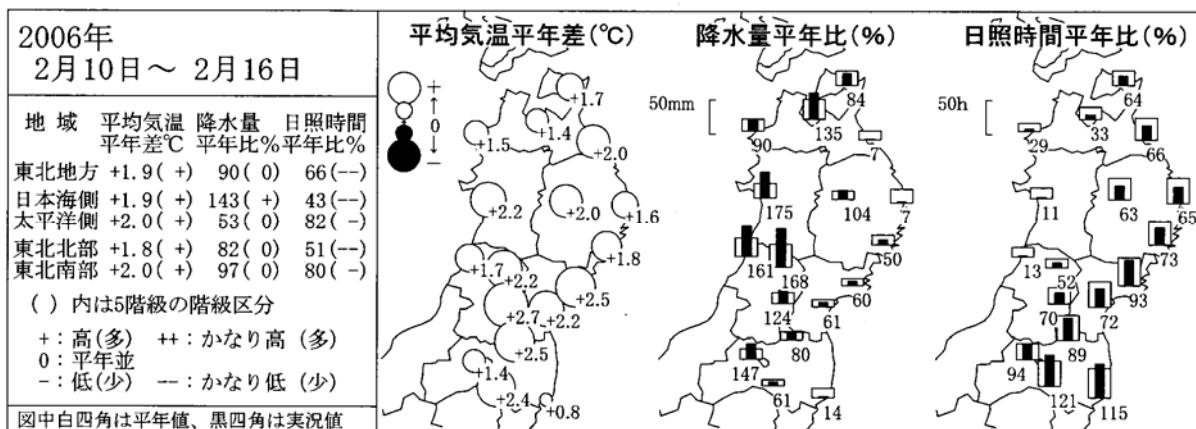
1週目は、日本付近は東西に広がる高圧帯。降水域は西日本が中心。2週目は、月平均とほぼ同様で、冬型の気圧配置は弱い。日本付近に降水域がかかる。3~4週目は、大陸から日本付近への高気圧の張り出しが平年並だが、カムチャツカ半島東の低圧部は弱く、冬型の気圧配置は弱い。本州南岸に気圧の谷が予想され、東・西日本にまとまつた降水域がかかる。



### 4. 最近1週間（2月10日～2月16日）の天候の経過

東北地方は10日に寒冷前線が通過した後、12日まで冬型の気圧配置となり、東北日本海側では雪となった所が多くなった。その後13~15日の前半まで南高北低の気圧配置となって、東北地方は気圧の谷となり、東北日本海側では雨となった所が多くなった。14~15日は南の高気圧から温かい空気が流入したため各地で気温がかなり上昇し、14日は秋田県でなだれのため1名の死者が出た。16日は、本州南岸の前線の影響で東北南部と東北太平洋側では雨や雪が降ったが、東北日本海側の北部では寒冷前線が通過した後、久しぶりに晴れ間が出た。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）